



**JPN Class**

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

四年生

十月 第③週



# 学習を始める前に

## ①必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具

## ②注意

- ・大事だと思うところはノートに書いてください。
- ・このビデオで使っているスライドを印刷いんさくしたい人は、最後のお知らせを見てください。

- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示しじにしたがってください。



- ・必要ひつようがあるときは、ビデオを止めた  
り、もう一度ビデオを見たりしてく  
ださい。

# 先週の宿題から

## 1. 漢字

今日の漢字テストで、間違えた漢字の練習をしましょう。

## 2. 音読 「一つの花」を読みましょう。

## 3. 言葉の勉強

次の問題の意味を、ア～オから選びましょう。

《国語のノートにやりましょう。》

(1) あやす**オ** (2) 勇ましい**エ** (3) 人ごみ**ウ**

(4) 配給**イ** (5) ログセ**ア**

ア 決まり文句。

イ わりあてて配ること。

ウ 人がたくさんいるところ。

エ 心がふるい立つ様子。

オ 小さい子どものきげんをとる。



## 一つの花

今西 祐行

「一つだけちようだい。」

これが、ゆみ子のはつきり覚えた最初の言葉でした。

まだ戦争のはげしかったころのことです。

そのころは、おまんじゅうだの、キャラメルだの、チョコレートだの、そんな物はどこへ行ってもありませんでした。おやつどころではありませんでした。食べる物といえば、お米の代わりに配給される、おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。

毎日、てきの飛行機が飛んできて、ばくだんを落としていきました。

町は、次々に焼かれて、はいになっていきました。

ゆみ子は、いつもおなかをすかしていたのでしょうか。ご飯のときでも、おやつするときでも、もつともつとって、いくらでもほしがるのでした。

すると、ゆみ子のお母さんは、



「じゃあね、一つだけよ。」

と言って、自分の分から一つ、ゆみ子に分けてくれるのでした。

「一つだけー。一つだけー。」

と、これが、お母さんの口ぐせになってしまいました。ゆみ子は、知らず知らずのうちに、お母さんのこの口ぐせを覚えてしまったのです。

「なんてかわいそうな子でしょうね。一つだけちようだいと言えば、なんでももらえるところでるのね。」

あるとき、お母さんが言いました。

すると、お父さんが、深いため息をついて言いました。

「この子は、一生、みんなちようだい、山ほどちようだいと言って、両手を出すことを知らずにすすかもしれないね。一つだけのいも、一つだけのにぎり飯、一つだけのかぼちゃのにつけー。みんな一つだけ。一つだけの喜びさ。いや、喜びなんて、一つだつてもらえないかもしれないんだね。いったい、大きくなって、どんな子に育つだろう。」

そんなとき、お父さんは、決まってゆみ子をめちやくちやに高い高いするのでした。

《新しい漢字》

センソウ

戦争

キユウ

配給

ヤ

焼く

ヨロコ

喜び



それから間もなく、あまりじょうぶでないゆみ子のお父さんも、戦争に行かなければならない日がやってきました。

お父さんが戦争に行く日、ゆみ子は、お母さんにおぶわれて、遠い汽車の駅まで送っていききました。頭には、お母さんの作ってくれた、わた入れの防空頭巾ぼうきんをかぶっていきました。

お母さんのかたにかかっているかばんには、包帯、お薬、配給のきつぷ、そして、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。

ゆみ子は、おにぎりが入っているのをちゃあんと知っていましたので、「一つだけちようだい、おにぎり、一つだけちようだい。」と言って、駅に着くまでにみんな食べてしまいました。お母さんは、戦争に行くお父さんに、ゆみ子の泣き顔を見せたくなかつたのでしようか。

駅には、ほかにも戦争に行く人があつて、人ごみの中から、ときどきばんざいの声が起りました。また、別の方からは、たえず勇ましい軍歌が聞こえてきました。

ゆみ子とお母さんのほかに見送りのないお父さんは、プラットホームのはしの方で、ゆみ子をだいて、そんなばんざいや軍歌の声に合わせて、小さくばんざいをしていたり、歌を歌っていたりしていました。まるで、戦争になんか行く人ではないかのように。



《新しい漢字》

包帯  
ホウタイ

泣き顔  
な

勇ましい  
いさ

軍歌  
グン



ところが、いよいよ汽車が入ってくるというときになって、またゆみ子の「一つだけちようだい。」が始まったのです。

「みんなおやりよ、お母さん。おにぎりをー。」  
お父さんが言いました。

「ええ、もう食べちゃったんですのー。ゆみちゃん、いいわねえ。お父ちゃん、兵隊ちゃんになるんだって。ばんざあいってー。」

お母さんは、そう言ってゆみ子をあやしましたが、ゆみ子は、とうとう泣きだしてしまいました。

「一つだけ。一つだけ。」  
と言って。

お母さんが、ゆみ子を一生けんめいあやしているうちに、お父さんが、ふいといなくなってしまうました。

お父さんは、プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のよな所に、わすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。

「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」

ゆみ子は、お父さんに花をもらうと、キヤツキヤツと足をばたつかせて喜びました。

お父さんは、それを見てにっこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながらー。

《新しい漢字》

ハイトイ

兵隊

一輪

リン





それから、十年の年月がすぎました。

ゆみ子は、お父さんの顔を覚えていません。自分にお父さんがあったことも、あるいは知らないのかもかもしれません。

でも、今、ゆみ子のとんとんぶきの小さな家は、コスモスの花でいっぱいに包まれています。

そこから、ミシンの音が、たえず速くなったり、おそくなったり、まるで、何かお話をしているかのように、聞こえてきます。それは、あのお母さんでしょうか。

「お母さん、お肉とお魚とどっちがいいの。」  
と、ゆみ子の高い声が、コスモスの中から聞こえてきました。すると、ミシンの音がしばらくやみました。

やがて、ミシンの音がまたいそがしく始まったとき、買い物かごをさげたゆみ子が、スキップをしながら、コスモスのトンネルをくぐって出てきました。そして、町の方へ行きました。

今日は日曜日、ゆみ子が小さなお母さんになって、お昼を作る日です。



《読み方が新しい漢字》

包む<sup>つつ</sup>

ゆみ子は、おにぎりが入っているのをちやあんと知っていましたので、「一つだけちょうだい、おにぎり、一つだけちょうだい。」と言って、駅に着くまでにみんな食べてしまいました。お母さんは、戦<sup>①</sup>争に行くお父さんに、ゆみ子の泣き顔を見せたくなかつたのでしようか。駅には、ほかにも戦争に行く人があって、人ごみの中から、ときどきばんざいの声が起こりました。また、別の方からは、たえず勇ましい軍歌が聞こえてきました。

ゆみ子とお母さんのほかに見送りのないお父さんは、プラットホームのはしの方で、ゆみ子をだいて、そんなばんざいや軍歌の声に合わせて、小さくばんざいをしていたり、歌を歌っていたりしていました。まるで、戦争になんか行く人ではないかのように。

ところが、いよいよ汽車が入ってくるというときになって、またゆみ子の「一つだけちょうだい。」が始まったのです。

②「みんなおやりよ、お母さん。おにぎりをー。」

お父さんが言いました。

「ええ、もう食べちゃったんですのー。ゆみちゃん、いいわねえ。お父ちゃん、兵隊ちゃんになるんだって。ばんざいってー。」

お母さんは、そう言ってゆみ子をあやしましたが、ゆみ子は、とうとう泣きだしてしまいました。

「一つだけ。一つだけ。」

と言って。

〈今西祐行「二つの花」による〉

(1) ー①「戦争に行くお父さんに、ゆみ子の泣き顔を見せたくなかつたのでしようか。」とありますが、お母さんは何をしましたか。

(2) ー②「みんなおやりよお母さんおにぎりをー。」と言った時の、お父さんの気持ちを考えて書きましよう。

(3) ー③「ゆみちゃん、いいわねえ。お父ちゃん、兵隊ちゃんになるんだって。ばんざいってー。」という言葉にはお母さんのどんな気持ちがこめられていますか。





ゆみ子は、おにぎりが入っているのをちやあんと知っていましたので、「一つだけちょうだい、おにぎり、一つだけちょうだい。」と言って、駅に着くまでにみんな食べてしまいました。お母さんは、戦<sup>①</sup>争に行くお父さんに、ゆみ子の泣き顔を見せたくなかつたのでしようか。駅には、ほかにも戦争に行く人があつて、人ごみの中から、ときどきばんざいの声が起こりました。また、別の方からは、たえず勇ましい軍歌が聞こえてきました。

ゆみ子とお母さんのほかに見送りのないお父さんは、プラットホームのはしの方で、ゆみ子をだいて、そんなばんざいや軍歌の声に合わせて、小さくばんざいをしていたり、歌を歌っていたりしていました。まるで、戦争になんか行く人ではないかのように。

ところが、いよいよ汽車が入ってくるというときになって、またゆみ子の「一つだけちょうだい。」が始まったのです。

②「みんなおやりよ、お母さん。おにぎりをー。」  
お父さんが言いました。

③「ええ、もう食べちゃったんですのー。ゆみちゃん、いいわねえ。お父ちゃん、兵隊ちゃんになるんだって。ばんざいってー。」

お母さんは、そう言ってゆみ子をあやしましたが、ゆみ子は、とうとう泣きだしてしまいました。

「一つだけ。一つだけ。」  
と言って。

〈今西祐行「二つの花」による〉

(1) ー①「戦争に行くお父さんに、ゆみ子の泣き顔を見せたくなかつたのでしようか。」とありますが、お母さんは何をしましたか。

**駅に着くまで、ゆみ子におにぎりを全部食べさせてしまった。**

(2) ー②「みんなおやりよお母さんおにぎりをー。」と言った時の、お父さんの気持ちを考えて書きましよう。

**ゆみ子の願いをかなえてあげたい。**

(3) ー③「ゆみちゃん、いいわねえ。お父ちゃん、兵隊ちゃんになるんだって。ばんざいってー。」という言葉にはお母さんのどんな気持ちがかめられていますか。

**ゆみ子を泣かせずに、お父さんを送り出したい。**



お母さんが、ゆみ子を一生けんめいあやしているうちに、お父さんが、ふいといなくなってしまう①。

お父さんは、プラットホームのはしっぱの、ごみすて場のような所に、おすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。

「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」

ゆみ子は、お父さんに花をもらうと、キャツキャツと足をばたつかせて喜びました。

お父さんは、それを見てにっこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながらー。

(1) —①「お父さんが、ふいといなくなってしまう①。」とありますが、お父さんは、なぜいなくなったのですか。

(2) 泣き出してしまったゆみ子に、お父さんは何をしてやりましたか。

(3) —②「一つの花を見つめながらー。」の「ー」の部分には、どんな言葉が入るのか考えて書きましょう。



お母さんが、ゆみ子を一生けんめいあやしているうちに、お父さんが、ぷいといなくなってしまう①。

お父さんは、プラットホームのはしっぽの、ごみすて場のような所に、おすれられたようにさいていたコスモスの花を見つけたのです。あわてて帰ってきたお父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。

「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」

ゆみ子は、お父さんに花をもらうと、キャツキャツと足をばたつかせて喜びました。

お父さんは、それを見てにつこり笑うと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながらー②。

(1) —①「お父さんが、ぷいといなくなってしまう①。」とありますが、お父さんは、なぜいなくなったのですか。

コスモスを見つけて取りに行ったから。

(2) 泣き出してしまったゆみ子に、お父さんは何をしてやりましたか。

一輪のコスモスを見つけてきて、ゆみ子にわたした。

(3) —②「一つの花を見つめながらー。」の「ー」の部分には、どんな言葉が入るのか考えて書きましょう。

汽車に乗って行ってしまいました。



## 比べてみましょう。

今の自分たちの暮らしと、「一つの花」にえがかれている戦争中の暮らしを比べて、どんなところにちがいがありますか。

- (1) 気づいたことを書きましょう。  
(2) そして、思ったことを書いてみましょう。

気がついたこと

### ① 食べ物

- ・ 戦争中
- ・ \*ヒント 「おやつどころではありませんでした。」
- ・ 今

### ② 家族

- ・ 戦争中
- ・ \*ヒント 「お父さんが戦争が行く日。・・・」
- ・ 今

### ③ 世の中の様子

- ・ 戦争中
- ・ \*ヒント 「毎日、てきの飛行機が飛んできて・・・」
- ・ 今

### ④ ほかに

- ・ 戦争中
- ・ 今

思ったことを書きましょう。



## サンマ不漁で「高級魚」

◆焼いて食べても、刺し身で食べてもおいしい、秋を代表する食材のサンマが、今年も歴史的な不漁となりました。みなさんの家庭の食卓でも気軽に食べられなくなるかもしれません。

漢字で書くと「秋刀魚」とあるように、これからが旬のサンマ。しかし今年は昨年に続く歴史的な不漁で、気軽には食べられないかもしれません。

八月二十四日、北海道厚岸町で行われたサンマの初競りでは、最高で一キロ一万一〇〇〇円の値段がつけました。これは歴史的な不漁だった昨年の五倍近い値段です。

不漁の原因は、温暖化によって日本近海の海水温が高くなったことです。冷たい水が好きなサンマが日本のまわりに来るのが遅くなっているのです。このほか、中国や台湾がサンマをたくさんとるようになったために数が少なくなっているとも言われています。

サンマ漁船は今後、日本近海を離れ、遠く北太平洋まで足を延ばす予定です。漁場が遠くなることで、サンマの鮮度が落ちてしまう可能性もあり、関係者は頭を悩ませています。

1. 記事を読んで、サンマを漢字で書きましょう。
2. サンマがとれなくなった原因を二つ書きましょう。



競りに向けて、大きさなどで仕分けられるサンマ（8月24日午前、北海道厚岸町で）



## サンマ不漁で「高級魚」

◆焼いて食べても、刺し身で食べてもおいしい、秋を代表する食材のサンマが、今年も歴史的な不漁となりました。みなさんの家庭の食卓でも気軽に食べられなくなるかもしれません。

漢字で書くと「秋刀魚」とあるように、これからが旬のサンマ。

しかし今年は昨年に続く歴史的な不漁で、気軽には食べられないかもしれません。

八月二十四日、北海道厚岸町で行われたサンマの初競りでは、最高で一キロ一万一〇〇〇円の値段がつけました。これは歴史的な不漁だった昨年の五倍近い値段です。

不漁の原因は、温暖化によって日本近海の海水温が高くなったことです。冷たい水が好きなサンマが日本のまわりに来るのが遅くなっているのです。このほか、中国や台湾がサンマをたくさんとるようになったために数が少なくなっているとも言われています。

サンマ漁船は今後、日本近海を離れ、遠く北太平洋まで足を延ばす予定です。漁場が遠くなることで、サンマの鮮度が落ちてしまう可能性もあり、関係者は頭を悩ませています。

1. 記事を読んで、サンマを漢字で書きましょう。

### 秋刀魚

2. サンマがとれなくなった原因を二つ書きましょう。

- ・温暖化で日本近海の海水温が高くなり、冷たい水が好きなサンマが来るのが遅くなった。
- ・中国や台湾がサンマをたくさんとるようになった。



競りに向けて、大きさなどで仕分けられるサンマ（8月24日午前、北海道厚岸町で）



## サンマ不漁で「高級魚」

◆焼いて食べても、刺し身で食べてもおいしい、秋を代表する食材のサンマが、今年も歴史的な不漁となりました。みなさんの家庭の食卓でも気軽に食べられなくなるかもしれません。

漢字で書くと「秋刀魚」とあるように、これからが旬のサンマ。しかし今年には昨年が続く歴史的な不漁で、気軽には食べられないかもしれません。

八月二十四日、北海道厚岸町で行われたサンマの初競りでは、最高で一キロ一万一〇〇〇円の値段がつけました。これは歴史的な不漁だった昨年の五倍近い値段です。

不漁の原因は、温暖化によって日本近海の海水温が高くなったことです。冷たい水が好きなサンマが日本のまわりに来るのが遅くなっているのです。このほか、中国や台湾がサンマをたくさんとるようになったために数が少なくなっているとも言われています。

サンマ漁船は今後、日本近海を離れ、遠く北太平洋まで足を延ばす予定です。漁場が遠くなることで、サンマの鮮度が落ちてしまう可能性もあり、関係者は頭を悩ませています。

### ① 内容をまとめましょう。

### ② 分かったこと、思ったこと、考えたことを書きましょう。



競りに向けて、大きさなどで仕分けられるサンマ（8月24日午前、北海道厚岸町で）



## 宿題

次回の授業までにやる勉強です。

### 1. 漢字

新しい漢字の復習をしましょう。

2. 音読 新聞記事「サンマ不漁ふりょうで高級魚」を読み  
ましょう。

### 3. 漢字の学習

次のア・イのうち、漢字の使い方の正しい方を選び  
ましょう。

- ① ア お米の代わりかわりにおいもが配給はいきゅうされました。  
イ お米の変わりかわりにおいもが配給はいきゅうされました。
- ② ア お父さんはあわてて帰かえってきました。  
イ お父さんはあわてて返かえってきました。
- ③ ア ミシンの音が、早はやくなったり、おそくなったり。  
イ ミシンの音が、速はやくなったり、おそくなったり。
- ④ ア また、ゆみ子は笑い始はじめました。  
イ また、ゆみ子は笑い初はじめました。





## お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
  2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って  
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ このビデオのスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から  
ダウンロードや印刷ができます。



# JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

# 国語の学習

# 小学校

# 四年生

# 年間学習表



# 身につけたい力

7月	6月	5月	4月		
	伝言はまちがえずに 伝言をまちがえずに 伝えるために注意す ることをおぼえよう。		三つのお願ひ 友だちと喧嘩をした 経験や仲直りをして うれしかった経験を 話そう。	1年間の学習を通し て 先生の話聞き、学 習を進めよう。	話す／聞く
伝えたいことを書く う 事実を正確に伝える 記事の書き方を学び、 記事を書こう。	春のうた 春になるとみられる 生き物や草花の、詩 を書こう。	「かむ」こと 二つのまとまりそれ ぞれを、短くまとめ よう。 (要約しよ う。)	手紙を書く 手紙の書き方を覚え て、友だちに手紙を 書こう。	新聞記事 記事の内容をまとめ、 記事に対する自分の 意見を書こう。	書く
伝えたいことを書く う 新聞には、どんな工 夫がされているか知 ろう。	春のうた 場面の様子やかえる の気持ちを想像しな がら読もう。 かえるの気持ちが表 れるように音読しよ う。	「かむ」こと 段落と段落のつなが りに気をつけて 読み、内容をつかも う。	三つのお願ひ ばめんの様子や物語 に出てくる人の気持 ちを想像して読もう。	新聞記事 子ども新聞を読もう。	読む
いろいろな符号 いろいろな符号の働 きを知ろう。	ローマ字 ローマ字の書き方や 決まりを知って、 ローマ字で書いてて みよう。	漢字辞典の使い方 漢字辞典の使い方 を知り、実際に使っ て熟語を調べよう。	〈漢字の組み立て〉 漢字を部分に分けて、 部分の名前を覚えよ う。漢字の部分がも つ意味を知ろう。		言葉

12月	11月	10月	9月	8月	
<p>自分の考えを発信しよう            自分がくわしく知りたいことや疑問に思うことを調べて、発信しよう。</p>			<p>伝え合うということ            調べたことを発表する方法について学び、調べたことを発表しよう。</p>		<p>話す／聞く</p>
<p>自分の考えを発信しよう            自分がくわしく知りたいことや疑問に思うことを調べて、新聞の形に書こう。</p> <p>心のつぶやきを言葉に            友だちの詩を参考に、詩を書こう。</p>	<p>アップとルーズ            段落ごとの内容をまとめよう。</p>	<p>一つの花            戦争中と戦争後の場面をくらべて、そのちがいをまとめよう。</p>	<p>伝え合うということ            自分の課題を見つけ、作文を書こう。</p>	<p>本のしょうかい            読んだ本の紹介カードを作ろう。</p> <p>白いぼうし            いちばんおもしろいな、すてきだなど思うところ、心に残るところ書こう。</p>	<p>書く</p>
<p>自分の考えを発信しよう            自分がくわしく知りたいことや疑問に思ったことの発信の仕方を知ろう。</p> <p>心のつぶやきを言葉に            友だちの詩を味わおう。</p>	<p>アップとルーズ            段落ごとの内容を読み取り、文章の組み立てをとらえよう。</p>	<p>一つの花            場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読もう。</p>	<p>伝え合うということ            「手と心で読む」を読んで、伝え合うことについて考えよう。</p>	<p>白いぼうし            様子や気持ちを表す言葉に注意して、場面の様子をつかもう。</p>	<p>読む</p>
	<p>いろいろな意味をもつ言葉            かなで書くと同じでも、意味のちがう言葉について考えよう。</p>	<p>文と文のつながり            接続後の働きを知り、正しく使えるようにしましょう。</p>	<p>にた意味の言葉            にた意味の言葉の違いを知り、ただしくつかえるようになるう。</p>	<p>同じ訓を持つ漢字            同じ訓を持つ漢字それぞれの意味と使い方を知ろう。</p>	<p>言葉</p>

	3月	2月	1月	
				話す／聞く
	<p>ごんぎつね 登場人物の気持ちの うつり変わりをもち に、この作品を、自 分で思ったことを、自 分なりにまとめてみ よう。</p>	<p>言葉遊び 自分で言葉遊びを作 ろう。</p>	<p>表やグラフにして 生活にかかわる問題 についてしらべて、 文章にまとめよう。</p>	書く
	<p>ごんぎつね 物語のあらすじをお さえ、場面の様子 想像しよう。 登場人物の気持ちの うつり変わりを読み 取ろう。</p>	<p>言葉遊び いろいろな言葉遊び を知ろう。</p>	<p>表やグラフにして 表やグラフを使った 文章について知ろう。</p>	読む
	<p>〈四年生の漢字〉 四年生で習った漢字 の復習をしよう。</p>	<p>漢字しりとり 漢字のしりとりをし て、漢字の読み方や 使い方を覚えよう。</p>	<p>熟語の意味 漢字の訓や漢字の組 み合わせで、熟語の 意味をつかめるよう にしよう。</p>	言葉